更新日：2026.03.26

地区：仙台市　震災語り部

ジャンル：震災語り部　まち歩き

対象：教育旅行　団体旅行　個人旅行

中野ふるさとYAMA学校／まち歩き語り部

学びのポイント

・中野ふるさとYAMA学校(※)メンバーの東日本大震災の教訓から、地震発生時、瞬時の判断が生死をわけたことを知り、地域で起きた過去の災害、地理的特徴を把握した上での防災対策が、命を守るための早く正しい行動につながることを学びます。

・蒲生地区での豊かな海べの暮らしや、生き物たちのすみかである蒲生干潟と住民との関わりから、脅威となる自然が一方では恵みをもたらすものであることを学び、自然とのつきあい方を考えることができます。

・街の宝をめぐるプログラムを通じて、地域の歴史や文化に関心を持つことで、地域との関わりや、ふるさとの良さを知り、ふるさとを誇りに思う気持ちを育むことへとつなげます。

※中野ふるさとYAMA学校:震災前に仙台市宮城野区の蒲生地区に住んでいた住民などで構成する市民団体。防災集団移転で各地に散り散りになった住民が再び集まり、未来を語ることができるよう、住民有志により発足しました。

1．内容

説 明	東日本大震災の甚大な津波被害により、エリアのほとんどに住むことができなくなった仙台市沿岸部の蒲生地区。 震災当時は約3,000名が暮らす住宅地でしたが、震災後は仙台港や高速道路に近い立地を生かした産業拠点として姿を変えました。 一方で、藩政時代には仙台領北部の穀倉地帯から米などを仙台城下へ輸送するための中継地として繁栄した歴史ある地区であり、“日本一低い山”の日和山、津波被害からの再生が進む“自然の宝庫”蒲生干潟、日本有数のパワフルな波で有名な仙台新港サーフスポットなど、憩いのひとときを求めて多くの人が訪れています。 プログラムでは、中野ふるさとYAMA学校の案内により、日和山や蒲生干潟など地域に残る貴重な街の宝を歩いてめぐり、震災の被害状況や教訓、街の歴史や文化、自然の脅威やすばらしさなど、まち歩きを通じて、かけがえのないものを守り続ける活動にふれます。 参加者には、ガイド終了時に日和山の登頂証明書をお渡しいたします。
実施形態	まち歩きを行いながらの語り部

2．案内ルート（例）：所要時間120分

2．情報①

所要時間	約60分～120分
催行人数	5名～最大30名程度まで
実施可能時間	9:00～16:00 ※90分プログラムを行う場合は案内開始時間が最終14:30まで
定休日	年末年始
場所	集合場所：なかの伝承の丘 案内エリア：仙台市宮城野区蒲生北部地区
予約受付	予約受付：中野ふるさとYAMA学校 案内実施：中野ふるさとYAMA学校

3．料金

料金	1団体3,000円（税込）		
支払い方法	当日現金払い	キャンセルポリシー	キャンセルの連絡は前日まで

4．アクセス

所在地	＜集合場所＞ なかの伝承の丘（（仮称）蒲生北部2号公園内　中野地区地域モニュメント　※中野小学校跡地） 〒983-0002　仙台市宮城野区蒲生5丁目30 Googleマップ：https://maps.app.goo.gl/oayMhyLvqb2rVWv4A ＜解散場所＞ 蒲生干潟 〒983-0002 宮城県仙台市宮城野区蒲生町87 Googleマップ：https://maps.app.goo.gl/HrJwsuo5TAeEQK6K9	
駐車場	指定駐車場はありません 近隣の駐車場：なかの伝承の丘（普通車38台、障がい者等優先2台、大型バス2台） 日和山（普通車50台、障がい者等優先2台、大型バスなし）	
アクセス	車	仙台東部道路 仙台港ICより約8分
	その他	タクシー利用の場合 JR仙石線陸前高砂駅より約10分 路線バス利用の場合 JR仙台駅より仙台市営バスに乗車し「蒲生・なかの伝承の丘前」（所要約38分）にて下車後、徒歩約4分 電車利用の場合 JR仙石線陸前高砂駅より仙台市営バスに乗車し「蒲生・なかの伝承の丘前」（所要約8分）にて下車後、徒歩約4分 レンタサイクル利用の場合 地下鉄東西線荒井駅より「Uminote cycle」を利用して約30分 ※Uminoteの利用方法はこちら　https://www.city.sendai.jp/project/sharecycle/0922.html
各地からの所要時間	・仙台駅から車で約30分 ・仙台空港から仙台東部道路を経由して車で約26分 ・松島海岸から三陸自動車道～仙台東部道路を経由して車で約30分	

5. 情報②

トイレ	日和山:男性用・女性用・バリアフリートイレ なかの伝承の丘:男性用・女性用・バリアフリートイレ				
バリアフリー	90分ほど屋外を歩くプログラムです 階段の上り下りがあります	売店	なし	食事	なし
その他					

6. 注意事項

服装	歩きやすい服装・靴、雨具
雨天時の対応	決行（雨具持参必須） ※内容が変更になる場合あり

7. 災害時の対応

周辺の避難場所	津波避難施設:センコー、日鉄建材津波避難タワー（市指定緊急避難場所）

8. 出張・オンライン対応

出張対応	出張講話可能	オンライン対応	

9. その他

事前学習資料	以下のサイト、資料がおすすめです **蒲生復興のあゆみ（編集・発行:仙台市）** https://www.city.sendai.jp/gamokikaku/kurashi/machi/kaihatsu/tochikukaku/documents/kankousi20220306.pdf
外国語対応	
周辺施設	仙台うみの杜水族館 :なかの伝承の丘より車で約7分 仙台市 南蒲生浄化センター :なかの伝承の丘より車で約7分 せんだい3.11メモリアル交流館 :なかの伝承の丘より車で約15分 蒲生なかの郷愁館:なかの伝承の丘より徒歩2分 蒲生御蔵跡展示室:なかの伝承の丘より徒歩7分

10. お問合せ・お申込み先

問合せ 申込み先	**仙台市高砂市民センター** TEL:022-258-1010 FAX:022-259-7577 E-Mail：takasago-siminc@hm-sendai.jp
申込期限	原則1か月前まで

ご案内コース例

【蒲生の“日本一”を散策し歴史と震災を学ぶ（120分）】

待ちあわせ
・
慰霊、見学

なかの伝承の丘（中野地区地域モニュメント　※中野小学校跡地）

震災で甚大な被害を受け廃校になった中野小学校跡地に造られた追悼と鎮魂の丘。丘の階段の途中には津波到達高が記されています。
蒲生干潟に羽ばたくコアジサシを刻んだ慰霊塔「希望の鐘」、旧4町内会の歴史を伝えるモニュメント、中野小学校閉校記念碑などがあります。

徒歩移動

見 学

蒲生なかの郷愁館

蒲生地区に住まわれていた方々が旧交を温め、地域の歴史と震災の記憶を後世につなげられるようにと「杜の都バイオマス発電所」内に設置された伝承施設です。
地域の歴史や自然、人々の暮らし、143年の歴史に幕を閉じた中野小学校の思い出、これからを見据えた再生可能エネルギーについて学べる展示があり、地域の姿を広く知ることができます。

徒歩移動

見 学

高砂神社

仙台藩三代藩主伊達綱宗公が、日本一長い運河群を構成する「貞山運河」の成就を祈願して建立した神社。周辺の景色が似ている「播州高砂浦」にちなんで名づけられたと言われています。津波で本殿や鳥居などが流失し2021年現在地に移転再建されました。

徒歩移動

見 学

津波に耐えたクロマツ

伊達政宗公が整備したとされる海岸防災林。見事な松林は津波で流失しましたが、数本が耐え残り保存されました。
貞山運河を暗渠化した道沿いにあります。

徒歩移動

見 学

“日本一低い山”日和山

東日本大震災前は約6mの標高がありましたが、震災で地盤沈下し津波の直撃を受け標高3mになり、国土地理院による調査で日本一低い山として認定されました。
毎年7月の第一日曜日が山開きとなっており、多くの人でにぎわいます。

徒歩移動

見学
・
案内終了

蒲生干潟

コアジサシ、コクガンなど越冬する渡り鳥や豊かな水生生物が生息し、四季折々に見られる美しい光景が広がる市民の憩いの場。
津波の直撃を受けて一時は消滅が危惧されましたが、現在は力強く再生が進んでいます。